



建設事業での環境に向けた取り組み ～6号大和川線での事例～

6号大和川線とは

4号湾岸線三宝 JCT ～ 14号松原線三宅 JCT までを結ぶ延長 9.7km の道路で内、6.8km がトンネルの路線です。2020年3月に全線開通しました！



大和川線

CO2 排出量
約 **6.8万t/年**
を削減！

仁徳天皇陵

約 **747** 個分の面積の
森林が吸収する CO₂

※大阪府における二酸化炭素排出量削減 H42 時点の整備有・無の交通量推計結果による
仁徳天皇陵は墳丘基部部の面積で計算
出典：林野庁 HP、堺市 HP

高速道路を整備することによって

高速道路の建設により一般道路の交通混雑が緩和され、車両の流れがスムーズになり速度変化の少ない走行が可能となります。これにより二酸化炭素等排出量の減少が期待されます。

→大和川線の整備により約 6.8 万 t/年*の CO₂ 排出を削減

さらなる取り組み

大和川線の建設に伴う環境負荷の軽減に努め「循環型社会」「脱炭素社会」「都市環境との共生」に向けた取り組みを行い、**CO₂ 排出量を削減**しました。

トンネル掘削時に生じる土を路下空間の埋戻しや、湾岸の土地造成事業へ再利用しました
本来廃棄物とな掘削土を**再資源化して活用** 廃棄物輸送の削減 ※近畿建設リサイクル表彰(会長賞)受賞

一部構造のプレキャスト化による型枠の削減を行いました
工事により発生する廃棄物を削減

従来よりも消費電力が削減できる設備(照明・換気設備)を使用しました
トンネルの消費電力削減

JCT や料金所の一部を緑化しました
緑化による**潤い**の創出、建物の屋上断熱に活用

建設時に CO₂ 排出量
約 **3,000t** を削減！



IE3*対応 換気設備
(ジェットファン)



LED 照明

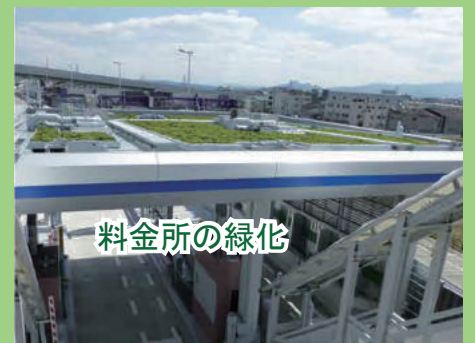


配線空間を
プレキャスト化！

路下空間の埋戻しに
トンネル発生土を再利用



JCT 内の緑化



料金所の緑化

*省エネ法による「トップランナー方式」にて定められたプレミアム効率 (IE3 レベル) の対応